

4. 全体成果概要

今年度は、データベース（DB）の仕様を設計、ハードウェアとソフトウェアを選択・導入し、DBを構築した。データ集では、日本海の既往調査データをJAMSTEC及び外部機関から収集を開始し、DBへ登録を行った。収集したデータ（日本海）の再解析を開始し、合わせて日本周辺の数値情報の収集を開始した。

また、断層モデルの構築では、津波や地震動の元となる断層モデルの構築手法を検討した。その際、サブテーマ（1）、（2）の検討から得られた主断層の断層パラメータの確かさ等の質の違いに応じたモデル化を考慮した。また、構築した断層モデルの妥当性を、津波や地震動のシミュレーションを用いて、検証するための手法を検討した。具体的には、自治体の被害想定を含む既往の津波波源の検討結果等を踏まえ、日本海で発生した過去の津波や地震動の記録を中心に、系統的に収集・整理し、それらとシミュレーション結果を比較すること等による断層モデルの妥当性検証手法を検討した。

5. 成果の論文発表・口頭発表等

（1）海域断層に関する既往調査結果の収集及び海域断層データベースの構築

（a）成果の論文発表・口頭発表等

なし

（b）特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

1) 特許出願

2) ソフトウェア開発

3) 仕様・標準等の策定

なし

（2）海域における既往探査データ等の解析及び統一的断層解釈

（a）成果の論文発表・口頭発表等

なし

（b）特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

1) 特許出願

2) ソフトウェア開発

3) 仕様・標準等の策定

なし

（3）海域における断層モデルの構築

（a）成果の論文発表・口頭発表等

なし

（b）特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

1) 特許出願

2) ソフトウェア開発

3) 仕様・標準等の策定

なし

6. むすび

本年度より7年間の計画で開始された本プロジェクトに関しては、各サブテーマに基づ

いて開始され、既往調査結果のデータ収集も順調に行われ再解析も実施され順調な滑り出しとなった。

7. 委員会・会議

(1) 運営委員会

(a) 設置趣旨及び役割

独立行政法人海洋研究開発機構（以下：機構）において、文部科学省からの受託事業「海域における断層情報総合評価プロジェクト」を円滑に推進するため、「海域における断層情報総合評価プロジェクト」運営委員会（以下「運営委員会」という。）を設置する。

運営委員会は、受託事業「海域における断層情報総合評価プロジェクト」に関し、次の各号に掲げる事項を行う。

- ・ 研究実施の全体計画及び個別年度計画の検討並びに進捗状況の評価
- ・ 年度成果報告の検討及び評価
- ・ 文部科学省が行う中間評価及び事後評価における評価資料のとりまとめ
- ・ その他、研究開発を推進するために必要な事案の検討

(b) 活動報告

- ・ 会議録

平成 25 年度

「海域における断層情報総合評価プロジェクト」第 1 回運営委員会

1. 日時：平成 25 年 10 月 23 日（水） 10:00～12:00
2. 開催場所：海洋研究開発機構 東京事務所 共用会議室 A, B
3. 議事

議題 1 プロジェクトの概要説明

議題 2 海域における断層モデルの構築補足説明

「海域における断層情報総合評価プロジェクト」第 2 回運営委員会

1. 日時：平成 26 年 3 月 7 日（金） 10:00～12:00
2. 開催場所：海洋研究開発機構 東京事務所 共用会議室 A, B
3. 議事

議題 1 海域断層に関する既往調査結果の収集及び海域断層データベースの構築進捗状況・成果及び H26 年度実施予定説明

議題 2 海域における既往探査データ等の解析及び統一的断層解釈進捗状況・成果及び H26 年度実施予定説明

議題 3 海域における断層モデルの構築進捗状況・成果及び H26 年度実施予定説明

(c) 構成員

委員長

佐竹 健治 東京大学地震研究所 地震火山情報センター 教授

委員